

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくり

NEWS vol.49



画像：第13回木工工作コンクール
とちぎの元気な森づくり県民会議会長賞受賞作品「ふね」
(栃木市立家中小学校 3年 渡邊 里美さん)

▼元気な森づくり県民会議だより

- ①令和2年度県民会議定期総会が開催されました
- ②企画員会議が開催されました
- ③森を知る・森に親しむ活動 ～とちぎの元気な森づくりのPR～
- ④木に親しむ活動 ～木工工作コンクールの開催～

▼特集

- ①「あつまれ！とちぎ木育の森2020」が開催されました！
- ②くまの木里山応援団の森づくり活動のご紹介
- ③第33回さきのご料理コンクールが開催されました！

▼県民会議構成員からのお知らせ

- ①栃木県山林種苗緑化樹組合 ～組合の活動について～
- ②栃木県林業振興協会 ～伐倒練習機を使用した技術向上研修～



発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先：(028)623-3302

とちぎの元気な森づくりNEWSは、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。

元気な森づくり県民会議だより

定期総会

令和2年度とちぎの元気な森づくり県民会議定期総会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面にて開催されました。

以下の議案について、構成員の賛成多数により承認されました。

- ①令和元（2019）年度の活動報告・収支決算報告
- ②令和元（2019）年度の活動計画（案）・収支予算（案）
- ③役員改選（案）

○ 役員

- ◇会 長：須賀 英之 宇都宮共和国学学長
- ◇副会長：江連 比出市 栃木県森林組合連合会代表理事会長
- ◇副会長：東泉 清寿 栃木県木材業協同組合連合会理事会長
- ◇副会長：増淵 充 (公社)とちぎ環境・みどり推進機構理事長
- ◇監 事：岡部 正英 栃木県市長会副会長
- 金田 淳 栃木県PTA連合会会長

☆県民会議の活動☆

- 🌳 県民会議は、元気な森づくりの日（10月16日）を中心に、とちぎの元気な森づくり憲章に基づき、「森に親しむ活動」「木に親しむ活動」「森を知る活動」を展開します！
- 🌳 構成員は、森林の公益的機能の普及啓発や木製品の利用の呼びかけを行うなどにより、「県民協働の森づくり活動」を推進していきます！



県民会議の活動は、HPでも公開していきますのでぜひご覧ください！

企画員会議

県民会議では、各団体から企画員を御推薦いただき、活動等について御意見をいただいたり、全体の活動に取り組んでいただくこととしています。

今年度の企画員会議は、総会と同様書面にて開催し、県民会議の活動について企画員の方からご意見をいただきました。

～いただいた主な御意見～

- ・HPにあわせてSNSでも発信できるとより有効と思います。
- ・コロナ禍でも、工夫や感染防止対策を行って活動している団体があれば、紹介して共有化してはどうか。
- ・森づくりニュースについては、多くの人の目に触れるようにしてほしい。
- ・「森づくりの日」を広く県民に伝えることがいいと思う。
- ・リーフレット等で「とちぎの元気な森づくり憲章」を配布する方法等でPR出来たらと思います。



各団体の広報誌など、森づくりに推進をPRできる場があれば、事務局（県環境森林政策課）までぜひお寄せください！



森を知る・森に親しむ活動

とちぎの元気な森づくりをPR!!

～ 県民協働で行う森づくりの大切さを広く県民の皆様にご紹介～

今年度は、対面による県民の皆様への普及啓発活動が難しいことから、リーフレットの作成や新聞への広告掲載、県民会議のホームページの充実などの活動を行ってきました。



とちぎの元気な森づくり県民税リーフレット



下野新聞への一面広告掲載



県民会議のホームページは、こちらからご覧いただけます！
URL : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/kenminkaigi.html>



10月16日「元気な森づくりの日」には、栃木県の森づくり活動のPRのため、その前後で懸垂幕を県庁舎に掲示するとともに、県庁内においてもPRのための展示を行いました。



県庁舎における懸垂幕の掲示



とちぎの元気な森づくりに関するパネル展示

木に親しむ活動

木工工作コンクール、金賞決まる!

～ 第13回子どもたちの木工工作コンクールの審査結果について ～

子どもたちの木づかい活動を広く普及するため、第13回子どもたちの木工工作コンクールを開催し、応募作品80点の中から6点の作品が金賞受賞となりましたので御紹介します。

この金賞受賞作品は、令和3年開催予定の第45回全国児童・生徒木工工作コンクールに栃木県代表として出品します。

金賞（最優秀賞）：栃木県 知事賞

○小学校低学年の部
「もりのようせいのおうち」



宇都宮市立御幸が原小学校
1年 神山 雫 さん

○小学校高学年の部
「ピアノのオルゴール」



鹿沼市立みどりが丘小学校
6年 宮本 歩夢 さん

○中学校の部
「躍動」



那須塩原市立高林中学校
2年 印南 瓜愛 さん
佐藤 優 さん
相馬 拓磨 さん

金賞：栃木県教育委員会 教育長賞

○小学校低学年の部
「りゅう木でできた昔の大きなトンボ」



那須塩原市立大原間小学校
3年 千田 寿和 さん

○小学校高学年の部
「キャンプ場」



鹿沼市立北小学校
6年 香山 優稀 さん

○中学校の部
「希望の汽関車」



那須塩原市立高林中学校
1年 田代 大翔 さん
人見 健吾 さん

特集①

あつまれ！とちぎ木育の森2020

～花木センターで木育とDIY わくわく もくもく～

とちぎの元気な森づくり県民税のPRを行いました！

令和2（2020）年10月17日（土）・18日（日）に、鹿沼市花木センターにおいて「あつまれ！とちぎ木育の森2020」が開催されました。会場では、とちぎ木づかい条例やとちぎの元気な森づくり県民税のパンフレットを配布し、木づかいの大切さや森づくりの必要性をPRしました。

また、各ブースでは木製品販売や木工体験等さまざまなイベントが行われ、両日ともに多くの家族連れなどでにぎわっていました。

条例・県民税PR



ブースでは経木のマスクケース作り体験を実施しました。

高性能林業機械試乗体験



スウェーデン一千の実演



ブルーベリー苗木配布



木工教室





くまの木里山応援団の森づくり活動

(公社)とちぎ環境・みどり推進機構

くまの木里山応援団の森林整備活動をご紹介します！

＜R2.9.20 高原山・イヌブナ自然林周辺（塩谷町）＞

9月27日に開催された「イヌブナ自然林現地講習会」の事前準備としてイヌブナ自然林に至る登山道の下刈りを実施しました。

3班に分かれ、登山口付近と守子神社、そして権現沢部分の周回コースを下刈りしました。天気は次第に回復し、今年は心配されたヤマビルの被害もありませんでした。

バリアフリー鉄道農園「風だより」にてバーベキューで団員の懇親を深めました。

「風だより」オーナーさんの笑顔と手厚い歓迎に感謝です。



下刈り作業中の里山応援団



下刈り作業班

○ 新型コロナウイルス感染予防について

新型コロナウイルスの感染予防が求められる中、森づくり活動においても適切な予防策により感染を防ぐことが必要です。

森づくり活動については、下記のとおりガイドラインが発出されていますので、活動を行う際は留意してください。（国土緑化推進機構基本ガイドラインより）

- ① 参加者名簿の作成（必要に応じて公的機関等へ提供されうることを事前に周知）
- ② 体温の測定と記録
 - ・発熱、息苦しさ、強いだるさなどがある場合は、活動を欠席
- ③ マスク・消毒液等の感染防止資材の携行
- ④ 共同で作業を実施する場合は、マスク等を着用
マスク等を外して活動する場合は、2メートル以上の距離を確保
- ⑤ 休憩、昼食等をとる場合は時間をずらす。対面での飲食や会話は避ける。



特集③

きのこ料理コンクール受賞者決定!

～ 第33回きのこ料理コンクールの審査結果について ～

新しいきのこ料理の創造ときのこの需要拡大を目的として、きのこ料理コンクールを開催し、ジュニアの部に167点、一般の部に425点の応募がありました。書類審査により各部から8名ずつ選ばれた16名が、10月27日に宇都宮短期大学長坂キャンパスで行われた本審査にて腕を振るい、味や独創性等の審査基準に基づく厳正な審査の結果、入賞作品が決定しました。

<最優秀賞>

ジュニアの部

和風きのこバーグセット



橋本 暖菜
宇都宮短期大学附属中学校

一般の部

きのこ好きにはたまらない!
7種のきのこパイ包み焼き
～きのこソース添え～



金澤 日菜穂
栃木県立矢板高等学校

<優秀賞>

ジュニアの部

きのこ粉ボール



鷲足 祐香
宇都宮短期大学附属中学校

一般の部

秋の夕暮れべっこう寄せ



西井 駿太郎
栃木県立矢板高等学校

<優良賞>

ジュニアの部

きのこのハニーマスタード
パイ包み焼き



中田 すみれ
宇都宮短期大学附属中学校

きのこ香る♪
カリッとふわふわ揚げそばがき



並木 星奈
宇都宮市立宝木中学校

一般の部

たっぷりきのこの
タルティーヌ



佐藤 湖雪
会社員

豆腐けんちんどんこ蒸し



石川 莉圭
宇都宮短期大学附属高等学校

<奨励賞>

ジュニアの部

しいたけの肉詰め
～まいたけあん～

室井 海南
宇都宮短期大学附属中学校

森のきのこの
ホワイトグラタン

木下 愛理
宇都宮短期大学附属中学校

たっぷりきのこの
豆腐グラタン

松葉 夢佳
宇都宮短期大学附属中学校

きのこの
ギョウザの皮サンド

松本 春音
宇都宮短期大学附属中学校

一般の部

免疫力UP!
きのこたっぷりキッシュ

小泉 結愛
宇都宮短期大学附属高等学校

たっぷりきのこの
スフレパンケーキ

若林 実玲
IFC栄養専門学校

きのこのパンナコッタ

平野 綾
宇都宮短期大学

マイタケそば団子の
寒天よせ

井上 奈々
IFC栄養専門学校

県民会議構成員からのお知らせ

生産量日本一のスギ・ヒノキコンテナ苗でとちぎの魅力発信！

栃木県山林種苗緑化樹協同組合

私たち栃木県山林種苗緑化樹協同組合は、山に植えるスギやヒノキなどの苗木を生産・供給する団体であり、栃木県が掲げる「森林・林業のサプライチェーン」の「起点」を担っています。

以前の苗木づくりは畑で露地栽培をしていましたが、造林面積の減少とともに縮小し、平成25年ごろの生産量は平成初期の1/4になってしまいました。

平成26年2月の大雪害で県北西部を中心に県内各地の森林に大きな被害が発生し、大量のスギ苗が必要となりました。そこで県の指導で、これまで3年かかっていた苗木生産を、一年半ないし2年で出荷可能な「コンテナ栽培」に切り替えることになり、県の支援を受けて生産基盤を整備しました。

組合員の努力により、生産の中心を畑での露地栽培から慣れない「コンテナ栽培」に移行し、平成30年度にはスギ・ヒノキの苗木が、全国で初めて全てコンテナ苗になりました。

今年の林野庁の統計では、平成30年度のスギ・ヒノキコンテナ苗生産量が日本一になりました。令和元年度の出荷量は120万本を超え、また、関東森林管理局の依頼を受けて生産量の少ない近隣の国有林にも供給を開始しています。県外での苗の評判は上々であり、本県の魅力度アップにもつながると自負しています。



手入れの様子



畑で成長したコンテナ苗

最近話題のVRを体験！研修会を開催しました

栃木県林業振興協会

栃木県林業振興協会は、林業経営等の合理化及びその経済的・社会的地位の向上並びに地域林業の振興を図ることを目的として活動しており、安全な林業作業の徹底と、林業技術の向上のため、様々な研修会を行っています。

今年度開催した2つの研修をご紹介します。

林業労働災害VRシミュレーター研修

講師：(株)森林環境リアライズ
石山浩一氏



バーチャルリアリティの空間で伐倒作業中に実際に起きた労働災害を疑似体験しました。

伐倒練習機を使用した技術向上研修

講師：Woodsman Workshop LLC 水野雅夫氏



山中の傾斜を再現できる伐倒練習機を使って繰り返し伐倒練習をしました。

レーザーポインターと直角定規を使用して樹木を倒す方向がねらい通りだったか確認しました。